

2007年10月23日

報道各位

日本歯磨工業会

2007年度 歯の衛生週間企画 第7回標語募集表彰式

最優秀賞「妹の 小さな口をのぞきこむ ボクが小さな歯医者さん」

日本歯磨工業会（会長 金田博夫）では、歯の衛生週間の関連企画として、2001年より「歯をみがくことの大切さ」をテーマにした標語を全国の皆さまから募集しています。

7回目となった本年度は、「歯をみがくことの大切さを言葉にしてみませんか」をテーマに、「標語」という形式にこだわらず、川柳的なもの、メッセージ性のあるものなど、楽しい言葉を4月1日～6月30日の3ヶ月間にわたって募集しました。また、本年度は、最優秀賞・優秀賞・ユニーク賞に加えて、新たに4つの賞（ファミリー賞、スクール賞、オフィス賞、川柳賞）を設定しました。

その結果、応募総数は2,110点、その中から最優秀賞1点、優秀賞2点、ユニーク賞1点、ファミリー賞1点、スクール賞1点、オフィス賞1点、川柳賞1点、佳作20点を選出し、10月16日(火)に最優秀賞「妹の 小さな口をのぞきこむ ボクが小さな歯医者さん」の作者・的場久恵さんにご出席いただき、表彰式を大阪市内で行いました。

表彰式には、日本歯磨工業会広報委員長・立岩孝好（サンスター株式会社）、同専務理事・宮嶋顕一郎ら標語審査メンバーが出席し、立岩広報委員長より、表彰状と賞金が的場さんへ手渡されました。

的場さんは「まさか最優秀賞に選ばれると思っていなかったもので、とても驚きました。子ども達は、2人とも歯が生えてすぐに歯医者さんへ行っているのだから、歯医者さんを怖がることはありません。ハブラシも大好きなので、2人とも自分で歯みがきしています。そんな毎日の様子からこの作品が生まれました。」と受賞の喜びを語ってくれました。

的場さんの作品は、ホームページに掲載する他、当工業会の標語として幅広く活用します。また、優秀賞、各賞の作品も当工業会のホームページで紹介しています。

< 日本歯磨工業会ホームページ <http://www.hamigaki.gr.jp> >

本件のお問い合わせ先

日本歯磨工業会

宮嶋顕一郎

TEL 03 (3 2 4 9) 2 5 1 1

日本歯磨工業会

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 2-4 三報ビル 7F TEL03-3249-2511 FAX03-3249-2513

参考資料

<表彰式レポート>

10月16日(火)、大阪市内で行われた表彰式には、作者・的場久恵さんと作品のモデルになった的場さんのお子さん、陽向(ひなた)くんと美羽(みはね)ちゃんの兄妹も来てくれました。定期的にかかりつけ歯科医に通われているという、オーラルケアにとっても熱心なご家族です。

的場さんは、「標語というカタチにこだわらない、とあったので、毎日、歯をみがいている子ども達の様子を言葉にしました」と応募の動機を話してくださいました。また、毎日のオーラルケアについては、「子どもたちには、お砂糖の入った飴やチョコレートは、食べさせないようにしています。おやつは、手づくりのクッキーや野菜を使ったものを食べています。また、ごはんを食べたらすぐに歯をみがくことを習慣にしています。2人とも歯が生えてすぐに歯医者さんへ行っているので、歯医者さんを怖がることはありません。ハブラシも大好きなので、2人とも自分で持って歯みがきしています」そのおかげで、2人ともムシ歯は1本もないそうです。「毎日の歯みがきの後に妹の口の中をお兄ちゃんがのぞいている様子からこの作品が生まれました」とのこと。最優秀賞にふさわしいすばらしいご家族でした。



左からの場陽向くん、久恵さん、美羽ちゃん、立岩広報委員長